



2011 die and mould technology,
conference 2011.

型技術者会議

グローバル化において型技術者が勝っていくためには

How can Japanese Die and Mould Engineers "WIN" in the Global Mega-Competition Era?

6.21(火)・6.22(水)

9:30~20:00 10:00~17:10

大田区産業プラザPiO

【特別講演】マツダ(株) 取締役副社長執行役員 金井 誠太

「マツダの商品とモノ造り戦略」

6月21日(火) 14:00~15:00

【特別企画(1件)】

「世界で活躍する型技術者」 6月21日(火) 9:30~12:00

【特別セッション(4件)】

「型技術者を活かす金型経営戦略」 6月21日(火) 16:00~18:00

「生産革新を支える金型ならびに金型周辺技術」 6月22日(水) 10:00~12:00

「製品設計開発を支える金型技術」 6月22日(水) 13:00~15:00

「金型のトライレス/修正レス/
品質保証に対する3D-CAD/CAEの有効利用」 6月22日(水) 15:10~17:10

【一般講演】

67件 1講演15分・討論5分

◇ 型技術協会総会 6月21日(火) 13:00~13:30

◇ 「協会賞」贈賞式 6月21日(火) 13:30~14:00

◇ 技術賞受賞特別講演 6月21日(火) 15:20~15:40

◇ 展示コーナー コンベンションホールロビー・

小展示ホールロビー

◇ 懇親パーティー 6月21日(火) 18:00~20:00

■ 参加費
事前登録 会員 9,000円 一般 18,000円

【懇親パーティー】
5,000円(35歳以下 3,000円)

■ 申込先
型技術協会 〒231-0011 神奈川県横浜市中央区大田区 6-79 マスミュージアム生命福祉ビル 201号室
TEL 045-224-8081 FAX 045-224-8082
E-mail info@jadm.jp ホームページ <http://www.jsdmt.jp/>

型技術者会議 2011

2011 CONFERENCE on DIE and MOULD TECHNOLOGY

開催日時： 2011年6月21日（火） 9:30～20:00
2011年6月22日（水） 10:00～17:10

開催場所： 大田区産業プラザ PiO
〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20
(JR 京浜東北線蒲田駅より徒歩 12 分、京浜急行 京急蒲田駅より徒歩 2 分)

主 催： 型技術協会

協 賛： RP 産業協会、自動車技術会、精密工学会、素形材センター、全日本プラスチック製品工業連合会、
ダイヤモンド工業協会、電気加工学会、超硬工具協会、日本金型工業会、日本機械学会、日本木型工業会、
日本金属プレス工業協会、日本工具工業会、日本工作機械工業会、日本合成樹脂技術協会、日本塑性加工
学会、日本ダイカスト協会、日本鍛造協会、プラスチック成形加工学会

後 援： 財団法人 金型技術振興財団、財団法人 大田区産業振興協会

型技術者会議 2011 講演スケジュール

(講演件数 67件)

		9:30	10:00	11:10	12:10	13:00	14:00	15:20	16:20	16:40	18:00	20:00
6 月 21 日 (火)	コンベンション ホール1	プレス・鍛造① 101・102・103 藤代3件		プレス・鍛造② 104・105・106 藤代3件		昼 食	/		プレス・鍛造③ 107・108・109 加治佐3件		懇親会 準備	懇親 パーティー
	コンベンション ホール2	切削工具① 201・202・203 今泉3件		切削工具② 204・205・206 今泉3件					切削工具③ 207・208・209・210 松岡4件			
	特別会議室	プラスチック成形 301・302・303 高橋3件		放電加工① 304・305・306 和田3件					放電加工② 307・308・309・310・311 澤崎5件			
	小展示 ホール	9:30~ 特別企画 「世界で活躍する型技術者」 岩熊、澤崎		総会・協会賞贈賞式 型技術協会					特別講演 金井誠太氏 マツダ(株) 小飼	技術賞受賞 特別講演 田岡	16:00~ 特別セッション① 「型技術者を活かす金型経営戦略」 今泉、保坂	
	小展示ホール コンベンションホール	展示コーナー										
6 月 22 日 (水)	コンベンション ホール1	プレス・鍛造④ 110・111・112 平林3件		プレス・鍛造⑤ 113・114・115 平林3件		昼 食	切削・研削・みがき① 116・117・118 福田3件		切削・研削・みがき② 119・120・121・122・123 福田5件			
	コンベンション ホール2	CAD/CAM/CAE① 211・212・213 品田3件		CAD/CAM/CAE② 214・215・216 品田3件			CAD/CAM/CAE③ 217・218・219 渡邊3件		積層造形 220・221・222 榎原3件			
	特別会議室	ダイカスト・鋳造① 312・313・314 岩熊3件		ダイカスト・鋳造② 315・316・317 岩熊3件			ダイカスト・鋳造③ 318・319・320 語田3件		工作機械 321・322・323・324・325 矢部5件			
	小展示 ホール	特別セッション② 「生産革新を支える金型ならびに金型周辺技術」 語田、高谷		特別セッション③ 製品開発を支える金型技術 高橋、平林			特別セッション④ 「金型のトライレス/修正レス/品質保証に 対する3D-CAD/CAEの有効利用」 品田、渡邊					
	小展示ホール コンベンションホール	展示コーナー										
												17:10
												22日は16:00で終了

特別講演

6月21日(火) 小展示ホール(14:00~15:00) (敬称略)

「マツダの商品とモノ造り戦略」

Products and “Mono-tsukuri” Strategy of Mazda

マツダ(株) 取締役副社長執行役員 **金井 誠太**

司 会 : 小飼 雅道 (マツダ(株))

特別企画 1件

6月21日(火) 小展示ホール(9:30~12:00)

「世界で活躍する型技術者」

特別セッション 4件

6月21日(火) 小展示ホール(16:00~18:00)

「型技術者を活かす金型経営戦略」

6月22日(水) 小展示ホール(10:00~12:00)

「生産革新を支える金型ならびに金型周辺技術」

6月22日(水) 小展示ホール(13:00~15:00)

「製品設計開発を支える金型技術」

6月22日(水) 小展示ホール(15:10~17:10)

「金型のトライレス/修正レス/品質保証に対する 3D-CAD/CAE の有効利用」

一般講演： 67件 1講演15分、討論5分

型技術協会総会

6月21日(火) 小展示ホール(13:00~13:30)

型技術協会「協会賞」贈賞式

6月21日(火) 小展示ホール(13:30~14:00)

技術賞受賞特別講演 1件

6月21日(火) 小展示ホール(15:20~15:40)

展示： 小展示ホールロビー、コンベンションホールロビー

懇親パーティー： 6月21日(火)(18:00~20:00)

平成 23 年度 (第 25 回) 「型技術者会議 2011」プログラム

(一講演 15 分、討論 5 分 ○印講演者(敬称略))

6 月 2 1 日 (火)

コンベンションホール 1 (4 階)	コンベンションホール 2 (4 階)	特別会議室(3 階)	小展示ホール(2 階)
<p>10:00~11:00 プレス・鍛造① 座長 藤代浩司</p>	<p>10:00~11:00 切削工具① 座長 今泉英明 オーエスジー(株)</p>	<p>10:00~11:00 プラスチック成形 座長 高橋啓太 (株)クライムエヌシーデー</p>	<p>9:30~12:00 特別企画</p>
<p>101 大物プレス金型形状加工の品質改善の取り組み ○西本光毅、宇都宮誠、藤川宏明 (マツダ(株))</p> <p>102 プレス金型の機械加工における生産性の向上 ○山木一平、国見誉、岡崎庄一、太田重成 (トヨタ自動車(株))</p> <p>103 プレス金型機械加工期間短縮の取り組み ○久保田泰、木村千映、原田茂幸、齊藤勝 (日産自動車(株))</p>	<p>201 高能率中荒加工を実現する最新工具『QM ミル』 ○内海文雄 (ダイジェット工業(株))</p> <p>202 高能率仕上加工を実現する最新工具「S ヘッドエンドミル」 ○行成伸二、藤井繁光 (ダイジェット工業(株))</p> <p>203 高能率防振工具 ○永淵憲二、高橋勇人 (日立ツール(株))</p>	<p>301 ガス抜きピン『ガストース』使用によるガス抜き効果と生産性アップ ○脇山高志 (株)プラモール精工)</p> <p>302 射出成形における材料特性測定技術 ○森泉大樹 (ホンダエンジニアリング(株))</p> <p>303 鏡面性、耐錆性に優れたプラスチック成型用金型鋼「UPD2」 ○佐々木剛、土岐和紀 (株)日本製鋼所)</p>	<p>「世界で活躍する型技術者」</p> <p>司会</p> <p>岩熊拓 (日産自動車(株)) 澤崎隆 ((株)ソディック)</p> <p>(内容の詳細は別紙をご覧ください)</p>
<p>11:10~12:10 プレス・鍛造② 座長 藤代浩司</p>	<p>11:10~12:10 切削工具② 座長 今泉英明 オーエスジー(株)</p>	<p>11:10~12:10 放電加工① 座長 和田光悦 三菱電機(株)</p>	
<p>104 プレスマシン間寸法変動に影響する要因の分析 ○渥美学、濱崎俊彰、田中美徳 (日産自動車(株))</p> <p>105 ナレッジを活用した型構造不具合低減の取り組み ○佛川正哲、田村みさと、田中美徳、中島俊之 (日産自動車(株))</p> <p>106 円筒ブランキング成形における板厚ひずみに及ぼす偏心クリアランスの影響 ○黒瀬雅詞、小林武史 (群馬工業高等専門学校)、 鏑木哲志 (群馬県立東毛産業技術センター)</p>	<p>204 二段すくい角を有するエンドミル工具の開発 ○伊藤悠太、是澤宏之、植原弘之、鈴木裕 (九州工業大学)</p> <p>205 バインダレス PCD, バインダレス CBN による金型加工 ○村上大介、小林豊、矢野和也 (住友電気ハードメタル(株))、 角谷均 (住友電気工業(株))</p> <p>206 DLC コート超硬と cBN エンドミルによる銅電極加工 ○島田浩之、矢野和也、村上大介 (住友電気ハードメタル(株))</p>	<p>304 生産性向上に寄与する最新の加工技術 ○漢那弓太郎 (株)牧野フライス製作所)</p> <p>305 形彫放電加工機の最新技術紹介 ○佐々木史朗、神谷聖人、森田一成 (三菱電機(株))</p> <p>306 最新細穴放電加工機の新技术 ○浅井敏慶、岡根正裕 (三菱電機(株))</p>	
			<p>13:00~14:00 総会・協会賞贈賞式</p>

			14:00~15:00 特別講演
			「マツダの商品と モノ造り戦略」 マツダ(株) 取締役副社長執行役員 金井誠太 司会 小飼雅道 (マツダ(株))

15:20~			
コンベンションホール 1 (4 階)	コンベンションホール 2 (4 階)	特別会議室(3 階)	小展示ホール(2 階)
15:20~16:20 プレス・鍛造③ 座長 加治佐英輔 トヨタ自動車(株)	15:20~16:40 切削工具③ 座長 松岡興治 (株)森精機製作所	15:20~17:00 放電加工② 座長 澤崎隆 (株)ソディック	15:20~15:40 技術賞受賞特別講演
107 モーターサイクル高意匠燃料タンクの生産技術について ○垣矢信行、橋本健、加藤育男 (ホンダエンジニアリング(株))	207 cBN 小径ラジアスエンドミルによる高精度微細形状加工について ○盛将人 (日進工具(株))	307 設計者の視点から見た EDAP の機械性能 ○粟倉雄一 (株)牧野フライス製作所	「車体金型への高速加工の取組み」 高木 慶一 (ホンダエンジニアリング(株))
108 ハブボルトの冷鍛セレーション成形 ○武田洋平、亀田照基、鈴木敏孝 (トヨタ自動車(株))	208 マイクロ工具による微細加工の提案 ○菅木泰斗、遠藤孝政 (日進工具(株))	308 最新ワイヤ放電加工機の新機能と加工事例 ○原正行、小林浩敦 (三菱電機(株))	司会 田岡 秀樹 (ホンダエンジニアリング(株))
109 微細結晶 Al-Mg 合金の恒温条件下における押出鍛造 ○中村克昭、杉本康子、恵良秀則、鈴木裕 (九州工業大学)	209 小径 CBN エンドミルによる切削方法と可能性 ○木野晴喜、吉村彰、吉岡尚吾 (日立ツール(株))	309 ワイヤ断線耐量向上による、高速エコ加工の最新技術事例 ○山田邦治、向後正記、澤崎隆 (株)ソディック	16:00~18:00 特別セッション①
	210 高硬度鋼用超硬ねじ切りカッタ ○左野雅通 (日立ツール(株))	310 水質かいりょう君 その効果とメカニズム ○橋本直幸 (株)橋本テクニカル工業)	「型技術者を活かす 金型経営戦略」 司会 今泉英明 (オーエスジー(株)) 保坂光一郎 (日立ツール(株)) (内容の詳細は別紙をご覧ください)
		311 MSCoating における金型への適用技術 (第3報) ○鷺見信行、後藤昭弘、寺本浩行、安永裕介 (三菱電機(株))	

6月22日(水)

コンベンションホール1(4階)	コンベンションホール2(4階)	特別会議室(3階)	小展示ホール(2階)
<p>10:00~11:00 プレス・鍛造④ 座長 平林巧造 (株)ハイテックコーポレーション</p>	<p>10:00~11:00 CAD/CAM/CAE① 座長 品田聖太 日本ユニシス・エクセリョーションズ(株)</p>	<p>10:00~11:00 ダイカスト・鋳造① 座長 岩熊拓 日産自動車(株)</p>	<p>10:00~12:00 特別セッション②</p>
<p>110 金型レス板材成形レーザーフォーミングー ○中村俊彦、石原将太郎、青山英樹(慶應義塾大学)、松下直久(富士通(株))</p> <p>111 プレス金型部品一次加工における3D表現を用いた低工数・高効率加工手法の具現化ーホンダエンジニアリングとお取引先様の共同取り組み事例ー ○浜尾晋次、鶴河勇二、渡辺直猪(ホンダエンジニアリング(株))</p> <p>112 プレス成形シミュレーション面歪予測技術の開発 ○一条尚樹(トヨタ自動車(株))、岩田徳利(株)豊田中央研究所)</p>	<p>211 CAEを用いた射出成形金型設計の最適化 ○古川智司、岩本道尚、志水克教、熊井克明(マツダ(株))</p> <p>212 Space-E で実現するエンジニアリングにおける4つのCサイクル(CAD/CAM/CAE/CAT) ○阿部田哲史(株)NTTデータエンジニアリングシステムズ)</p> <p>213 3次元樹脂金型設計の手数削減検討 ○橋口淳一(株)NTTデータエンジニアリングシステムズ)</p>	<p>312 ダイカスト金型における製作リードタイム短縮 ○新川裕美、植原賢治、寺西直道(広島アルミニウム工業(株))</p> <p>313 ダイキャスト金型材による切削条件選定とその効果 ○藤井尉仁(オーエスジー(株))</p> <p>314 高靱性低歪熱処理「e-HIT法」の開発 ○渡辺憲一、北川利博(大同アミスター(株))、河野正道、大藤孝(大同特殊鋼(株))</p>	<p>「生産革新を支える金型 ならびに金型周辺技術」</p> <p>司会 語田和秀(株)ヤマナカゴーキン) 高谷裕浩(大阪大学)</p> <p>(内容の詳細は別紙をご覧ください)</p>
<p>11:10~12:10 プレス・鍛造⑤ 座長 平林巧造 (株)ハイテックコーポレーション</p>	<p>11:10~12:10 CAD/CAM/CAE② 座長 品田聖太 日本ユニシス・エクセリョーションズ(株)</p>	<p>11:10~12:10 ダイカスト・鋳造② 座長 岩熊拓 日産自動車(株)</p>	
<p>113 ロボット搬送ラインの量産スピードアップに向けた量産準備プロセスの構築 ○山野哲司、木村敬、岩崎彩(マツダ(株))</p> <p>114 順送プレス金型構造シミュレーションによるバーチャルトライ ○大町勝一郎(株)ナノソフト)</p> <p>115 【震災の影響により論文掲載ならびに講演発表が不可能となりました】</p>	<p>214 ナビゲーションシステムを使った3次元金型設計手法の平準化 ○西本浩(日本ユニシス・エクセリョーションズ(株))</p> <p>215 【震災の影響により論文掲載ならびに講演発表が不可能となりました】</p> <p>216 デジタルエンジニアリングツールのクラウド環境構築について ○今田智秀(株)データ・デザイン)</p>	<p>315 ダイカストマシンを用いた焼付き試験 ○横井直樹、河野正道、保母誠(大同特殊鋼(株))</p> <p>316 ダイカストの操業とマイクロ組織の改善に対する高熱伝導率金型材料の効果 ○井ノ口貴之、伊藤恒夫(大同特殊鋼(株))、相田保和(日産自動車(株))</p> <p>317 新しい高性能ダイカスト金型材料DAC-MAGICの特性と適用事例 ○山口基、片岡公太、長澤政幸、中津英司、加田善裕(日立金属(株))</p>	

13:00～

<p>13:00～14:00 切削・研削・みがき① 座長 福田吉高 オークマ㈱</p>	<p>13:00～14:00 CAD/CAM/CAE③ 座長 渡邊忍 ㈱C&G システムズ</p>	<p>13:00～14:00 ダイカスト・鋳造③ 座長 語田和秀 ㈱ヤマナカゴーキン</p>	<p>13:00～15:00 特別セッション③</p>
<p>116 高速高送り加工技術では、更なる高能率加工実現には壁がある (1) ○阿部考志 (㈱金型コンサル)</p> <p>117 低速高送り加工採用で驚異的コストダウンが実現した事例紹介 (2) ○中野高秀 (㈱金型コンサル)</p> <p>118 金型用鋼の被削性に及ぼす影響因子 ○伊達正芳、片岡公太、菅野隆一朗、中津英司、加田善裕 (日立金属㈱)</p>	<p>217 CAE 解析による金型寿命延長 ○舟橋徹、黒川慎太郎、近藤博紀 (トヨタ自動車㈱)</p> <p>218 STLCAM の加工評価に関する研究 ○望月達也 (静岡文化芸術大学)</p> <p>219 【震災の影響により論文掲載ならびに講演発表が不可能となりました】</p>	<p>318 湯流れ解析によるヒートチェックの予測 ○河野正道、横井直樹、保母誠 (大同特殊鋼㈱)</p> <p>319 高 Si アルミ合金ダイカスト品の湯流れと金属組織分布の関係 ○船橋弘旭、山縣裕、新川真人 (岐阜大学)</p> <p>320 日本でのものづくりと型づくりの追究～「手のひらキャビティ」構想による生産革新～ ○長藤則政、河野一郎、大塚真、青田巖 (マツダ㈱)</p>	<p>「製品設計開発を支える金型技術」</p> <p>司会</p> <p>高橋啓太 (㈱クライムエヌシーデー)</p> <p>平林巧造 (㈱サイベックコーポレーション)</p>
<p>14:10～15:50 切削・研削・みがき② 座長 福田吉高 オークマ㈱</p>	<p>14:10～15:10 積層造形 座長 植原弘之 九州工業大学</p>	<p>14:10～15:50 工作機械 座長 矢部和寿 ㈱牧野フライス製作所</p>	<p>(内容の詳細は別紙をご覧ください)</p>
<p>119 パリの発生予測システム ○太田謙太郎、青山英樹 (慶應義塾大学)、佐野記章 (日本ユニシス・エクセリョーションズ㈱)</p> <p>120 最新デジタル研削加工技術—CCD カメラによる総型ドレス自動補正加工— ○工藤康英 (㈱アマダマシンツール)、片桐和宏、浦西渉 (㈱アマダマシンツールエムエフジー)</p> <p>121 高硬度梨地面加工法の確立 ○小松梅夫、加藤道男、加来孝弘、鬼頭秀仁 (㈱デンソー)</p> <p>122 圧電素子を用いた振動研磨による微細形状の超精密精密研磨 ○鈴木浩文、岡田睦 (中部大学)、徐世傑、矢野健 (有)メカノトランスフォーマ、樋口俊郎 (東京大学)</p> <p>123 中国価格でも金型が製造できる金型加工コストダウンをどう実現できるか (3) ○左甲斐武久 (㈱金型コンサル)</p>	<p>220 金属光造形金型を用いた射出成形のウェルド低減 ○米山猛 (金沢大学)、阿部諭 (パナソニック電気㈱)、宮丸充 (宮丸精密金型㈱)</p> <p>221 金属光造形用粉末のレーザ焼結特性に関する研究—ファイバ導光型 2 色温度計によるレーザ照射部の温度測定— ○古本達明、上田隆司 (金沢大学)、阿部諭 (パナソニック電気㈱)</p> <p>222 光硬化性樹脂の定量注入制御による幾何学模様の作成 ○柳沼秀和 (日本大学大学院)、溝口知広、小林義和、白井健二 (日本大学)</p>	<p>321 知能化技術 加工ナビの旋削加工への展開 ○高松洋之、石原洋成、山尾道朗、吉野清、安藤知治 (オークマ㈱)</p> <p>322 MCC2013VG による金型加工の高能率・高精度化 ○近藤英児 (㈱牧野フライス製作所)</p> <p>323 微細精密加工機による高速/高精度な付加軸加工 ○尾崎周 (㈱牧野フライス製作所)</p> <p>324 小型精密加工機「μV1」による精密加工事例 ○佐藤欣且 (三菱重工業㈱)</p> <p>325 レーザプローブ走査方式の超精密測定の研究—青色レーザ利用による高精度化— ○岡田睦、鈴木浩文 (中部大学)、三浦勝弘 (三鷹光器㈱)、松岡伸夫 (㈱菱光社)</p>	

			15:10~17:10 特別セッション④
			「金型のトライレス/修正レス/ 品質保証に対する 3D-CAD/CAE の有効利用」 司会 品田聖太 (日本ユニシス・エクセリューションズ(株)) 渡邊忍 (株C&G システムズ) (内容の詳細は別紙をご覧ください)

「型技術者会議 2011」

特別企画

開催日時：2011年6月21日（火） 9：30～12：00

開催場所：大田区産業プラザ PiO 小展示ホール

「世界で活躍する型技術者」

総合司会：岩熊 拓（日産自動車(株)）・澤崎 隆（(株)ソディック）

趣 旨：型技術を取り巻く環境は、商品のグローバルマーケット化の進展にともない、完成品生産の現地化が進み、型作りの海外現地化のトレンドが急速に拡大しています。日本の基盤産業と言われた国内金型製造は、**Low Cost Country** との競争激化の中で危機に直面しており、新成長産業などの受注先拡大や海外への製造シフトを志向しているものの、将来に向けた確実な「仕事」が見出せない状況にあります。こうした環境下の中でも、「ひとりひとりの型技術者」は「勝ち残り」を目指し、グローバルに活動/活躍する場面も増えつつあります。

本特別企画では、型技術者会議 2011 のメインテーマ「グローバル化において型技術者が勝っていくためには」に即し、グローバルに活動されている型関連の技術者、経営者にフォーカスし、実際に経験された成功談や失敗談を交えて、ご講演いただきます。また、会場の皆様とディスカッションする時間も設定させていただきました。今後、世界で活躍する日本人技術者がひとりでも多く育ち、グローバルに拡大するマーケットの中で、「日本の型技術者がグローバルなもの造りを支える」姿を思い描き、本特別企画に参加される皆様と「世界で活躍する型技術者」の将来へ向けた想いを討論できればと期待しております。

講演内容：（敬称略） ＊各講演 30 分（質疑応答 5 分含）、パネルディスカッション 30 分

- 1) 「異文化交流と金型」
Cross-cultural Communication and Mold
八海クリエイツ(株) 関 聡彦
- 2) 「最近までは華の金型産業、今は・・・」
Before working as a die and mould engineer was very profitable, but now...
Sigma & Hearts CO.,LTD. 井野 登志雄
- 3) 「“アジアものづくり” 進出の実践と、「人・物・金」のパッケージ戦略」
Implementation of Monodzukuri in Asia and a business model based on packaging “People, Goods and Capital”
(株)昭芝製作所 三原 佑介
- 4) 「新材料開発と海外への販路開拓への道のり」
The way to the development of new alloys, the finding new markets, and the expansion our business abroad
大和合金(株) 萩野 源次郎
- 5) パネルディスカッション（参加者とのディスカッション） 司会：(財)機械振興協会 山本 聡

「型技術者会議 2011」

特別セッション①

開催日時：2011年6月21日（火）16：00～18：00

開催場所：大田区産業プラザ PiO 小展示ホール

「型技術者を活かす金型経営戦略」

総合司会：今泉 英明（オーエスジ-株）・保坂 光一郎（日立ツール株）

趣 旨：型業界を取り巻く環境は、世界同時不況の回復に向けた生産体制の見直しが加速され、生産国際化の進展と海外生産拠点の現地化の進展がなされるなか、グローバル化において日本の金型技術者が勝ち抜いていくための戦略、戦術が求められています。今回は、「型技術者を活かす金型経営戦略」をテーマに、金型ユーザー様の「型技術者を育てる環境をどう作るか」、「国外、国内におけるものづくりでの成功事例」、「独自のものづくり技術」のご紹介をいただき、型関連の仕事で活躍されている方々の日本国内及び海外でのものづくりを支えるみなさまのより広い観点、斬新な活動から、「明日を見据えた」経営戦略、技術革新、人材育成などに関する色々な自慢話を披露していただければと考えております。今後の金型業界における、日本のものづくり/型づくりの意義をつかめる内容とさせていただき、この企画が本会議参加者の今後の更なる活性化と、新たな挑戦への「ものづくりの革新」のヒントとなればと期待しております。

講演内容：（敬称略） *各講演 40分（質疑応答 5分含）

- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|
| 1) 「他人(ひと)のやらないことをやる “オンリーワン企業を目指して”」
Take the way no one try -the only one strategy- | 本多プラス株 | 本多 克弘 |
| 2) 「ヒート&クールの新たなる世界」
The New World of Heat and Cool | 三菱商事テクノス株 | 山下部 保秀 |
| 3) 「和泉金型における加飾加工技術への取り組み」
Efforts on Decorative-Processing-Technology in IZUMIKANAGATA | (有)和泉金型 | 和泉 隆志 |

「型技術者会議 2011」

特別セッション②

開催日時：2011年6月22日（水）10：00～12：00

開催場所：大田区産業プラザ PiO 小展示ホール

「生産革新を支える金型ならびに金型周辺技術」

総合司会：語田 和秀（(株)ヤマナカゴーキン）・高谷 裕浩（大阪大学）

趣旨：終わりの見えない超円高の波、潤沢な資金力と安い人件費を背景に急成長を続ける新興国型メーカー、レアアース等資源を持たない日本での資材調達不安等、私たちの業界を取り巻くマイナス要因は枚挙にいとまが無い。
しかし、そのような状況を打ち破っていくために、単に“型を作っておさめる”という従来の“型屋”の枠を超え、そこに更なる付加価値、サービス、技術を提案・提供することにより金型ユーザーの製品製造工程を含めたイノベーションを果たしていこうとする取り組みが、金型および関連技術の研究開発者・技術者の中で積極的に展開されている。
本セッションでは金型の種別にとらわれずに、そのような事例に結びつく研究開発の最前線および実用化事例を紹介させていただくことで、今後の金型業界の継続的発展の一助となることを期待します。

講演内容：（敬称略） *各講演40分（質疑応答5分含）

- | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 1) 「キヤノンのものづくりを支える“金型技術と目指す姿”」
Molding technologies and destinations that contribute Canon's MONOZUKURI(manufacturing). | キヤノンモールド(株) | 友常 洋一 |
| 2) 「パルプ射出成形—その成形・金型技術の最新動向—」
Pulp Injection Molding -Recent Trend on Molding and Mold Technologies- | 東京大学生産技術研究所 | 横井 秀俊 |
| 3) 「生産革新を支える試作技術」
Prototype engineering supports production innovation | (株)浅野 | 赤石 広行 |

「型技術者会議 2011」

特別セッション③

開催日時：2011年6月22日（水）13：00～15：00

開催場所：大田区産業プラザ PiO 小展示ホール

「製品設計開発を支える金型技術」

総合司会：高橋 啓太（(株)クライムエヌシーデー）・平林 巧造（(株)サイベックコーポレーション）

趣旨：モノが溢れる程ある時代の中、売れる商品・売れない商品は顧客ニーズにあった開発力が重要です。製品設計では、顧客が求める「便利そう！」「かわいい！」「おもしろい！」「長く使えそう！」などといった多くの魅力的な欲求を満たす必要があります。そのような多様化する製品設計を支えるためにも、モノ創りの基盤である金型の新たな価値技術が必要不可欠です。本セッションでは、製品に付加価値を付与するような新しい技術に挑戦されている企業をお招きして、一步先行く価値技術を発表していただきます。
多くの参加者をご期待申し上げると同時に、この企画が今後の金型技術の進化発展に寄与できれば幸いに存じます。

講演内容：（敬称略） ＊各講演 40分（質疑応答 5分含）

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 1) 「超微細粒鋼とプレス加工への影響」
Ultra fine grain steel and the effects on Stamping Process | (株)小松精機工作所 | 小松 隆史 |
| 2) 「厚板の精密せん断技術開発への取り組み事例」
Development of new fine blanking technology | 昭和精工(株) | 永田 卓 |
| 3) 「商品の付加価値を高める “TOM 三次元加飾工法”」
Three dimension Overlay Method | 布施真空(株) | 三浦 高行 |

「型技術者会議 2011」

特別セッション④

開催日時：2011年6月22日（水）15：10～17：10

開催場所：大田区産業プラザ PiO 小展示ホール

「金型のトライレス/修正レス/品質保証に対する 3D-CAD/CAE の有効利用」

総合司会：品田 聖太（日本ユニシス・エクセリューションズ(株)）・渡邊 忍（(株)C&G システムズ）

趣 旨：昨今、金型発注のグローバル化に伴い、型メーカーとして勝ち残るには、金型設計・製造に多くの時間を費やすことはできない状況となっている。すなわち、何度もトライを重ねての金型の完成度の向上や、その修正に多くの時間を費やすことはできない。また、金型そのものの品質を上げ、海外製造の金型との最適な差別化を行う事が必要と思われ、ひいては量産に合った付加価値の高い金型を製造することによって、製品の品質向上を狙うことが必要とされている。その金型設計業務における 3D-CAD/CAE は高度に活用できる環境下であり、本セッションでは、金型設計において CAE を上手に利用し、早い段階で問題点を見つけ、その対策を講じることにより、最適な付加価値高い金型を製造されている企業の方々にご講演頂きます。皆様の金型設計製造業務の改善、革新のヒントとなれば幸いです。

講演内容：（敬称略） ＊各講演 40 分（質疑応答 5 分含）

- | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 1) 「解析を用いた造型不良解消への取り組み」
Utilizing CAE for eliminating trial-and-error | (株)米谷製作所 | 青木 雅 |
| 2) 「自動車用プレス金型製造における板成形シミュレーションの活用」
Use in the manufacture of sheet forming simulation for automobile stamping dies | 明星金属工業(株) | 江田 幸彦 |
| 3) 「数学で金型を創ろう」
Create a die with mathematics | ムツミ工業(株) | 福田 智弘 |